

# 継体天皇と弟国宮

小田桐 淳

## 1 継体天皇とはどんな天皇？

『日本書紀』に書かれた継体天皇の事蹟

### 継体天皇の出生

- ・ 継体天皇は、名前は男大迹王（おほどのおほきみ）。応神天皇の五世の孫、彦主人王（ひこうしのおほきみ）の子。
- ・ 母は振媛。垂仁天皇七世の孫。「高向」（たかむこ。越前国坂井郡高向郷＝福井県坂井郡丸岡町）にいた。
- ・ 彦主人王が「近江国三嶋郡三尾」（三尾郷＝滋賀県高島市）の別荘から「三国坂中井」（越前国坂井郡＝福井県坂井郡三国町）に使いを出し、妃とした。
- ・ 男大迹王がまだ若い時に彦主人王が亡くなったため、振媛は父母の家家である「高向」で王を養育した。

### 即位の経緯

- ・ 506年、武烈天皇死去。天皇には子がなく、次期天皇の指名もなかったため、大臣、大連が集まって次期天皇を誰にするかの合議がおこなわれた。
- ・ 二番目の候補者として男大迹王が挙げられたが、男大迹王はなかなか動かなかった。
- ・ 河内馬飼首荒籠（かわちのうまかいのおびとあらこ）が内々に説得し、男大迹王は507年、河内／樟葉宮で即位した。

### 山代／筒城宮（511年遷宮）時代の出来事

- ・ 継体天皇六年十二月 百済国の使者が任那（みまな）の4県、上哆唎（おこしたり）、下哆唎（あろしたり）、娑陀（さだ）、牟婁（むろ）を請う上表文を提出。哆唎国守穂積臣押山と大伴大連金村が天皇の詔を難波館（なにわのむろつみ＝迎賓施設）にいた百済国の使者に伝える。勾大兄皇子がこれを知り、急ぎ難波に使いを出して割譲を取り消そうとするが、百済国の使者は詔をたてにこれを聞かず帰国してしまう。
- ・ 継体天皇七年六月 百済国、二人の將軍を派遣して五経博士を貢上する。二人の將軍が己汶（こもん）、帶沙（たいさ）の割譲を願う。
- ・ 同年九月 勾大兄皇子、仁賢天皇の皇女、春日皇女を娶る。
- ・ 同年十一月 百済、新羅、安羅（あら）、伴跛（はへ）各国の使者を前にして、己汶、帶沙を百済国に割譲する。伴跛国の使者が己汶の割譲を願うが叶えられず。
- ・ 同年十二月 勾大兄皇子、太子（ひつぎのみこ）となる。

- ・継体天皇八年三月 伴跛国が城を築いて倭国に備え、新羅国を攻める。
- ・継体天皇九年二月 百済国の使者が帰国するにあたり、物部連を同行させる。伴跛国の敵対を知り、兵船 500 隻を帯沙江に配する。
- ・同年四月 伴跛国、物部連の軍を攻める。
- ・継体天皇十年五月 百済国、物部連の軍を助けて己汶に導き、百済国に入れる。
- ・同年九月 百済国の使者が物部連とともに来朝。己汶の割譲を謝する。五経博士を交代させる。

#### 山代／弟国宮 (518 年遷宮) 時代の出来事

- ・百済の武寧王が亡くなり、明王 (聖明王) が即位する。

#### 大和／磐余玉穗宮 (526 年遷宮) 時代の出来事

- ・継体天皇二一年六月 近江毛野臣 (あふみのけなのおみ) が 6 万の兵を率いて、新羅に奪われた南加羅・喙己吞 (とくことん) を取り返し任那を復興しようとするが、筑紫国造磐井 (つくしのくにのみやつこいはい) が新羅の賄を受け、火国 (後の肥前、肥後)、豊国 (後の豊前、豊後) を従えて反乱し、毛野臣の軍の渡航を阻む。(磐井の乱)
- ・継体天皇二二年十一月 天皇は物部大連鹿火を派遣し、磐井を切る。磐井の子筑紫君葛子が糟屋屯倉 (かすやのみやけ) を献上して降伏。
- ・継体天皇二三年三月 近江毛野臣を安羅に派遣する。新羅が任那を侵す。
- ・継体天皇二四年 近江毛野臣、任那復興に失敗して帰国の途中、対馬で死去。
- ・継体天皇二五年二月 継体天皇没。

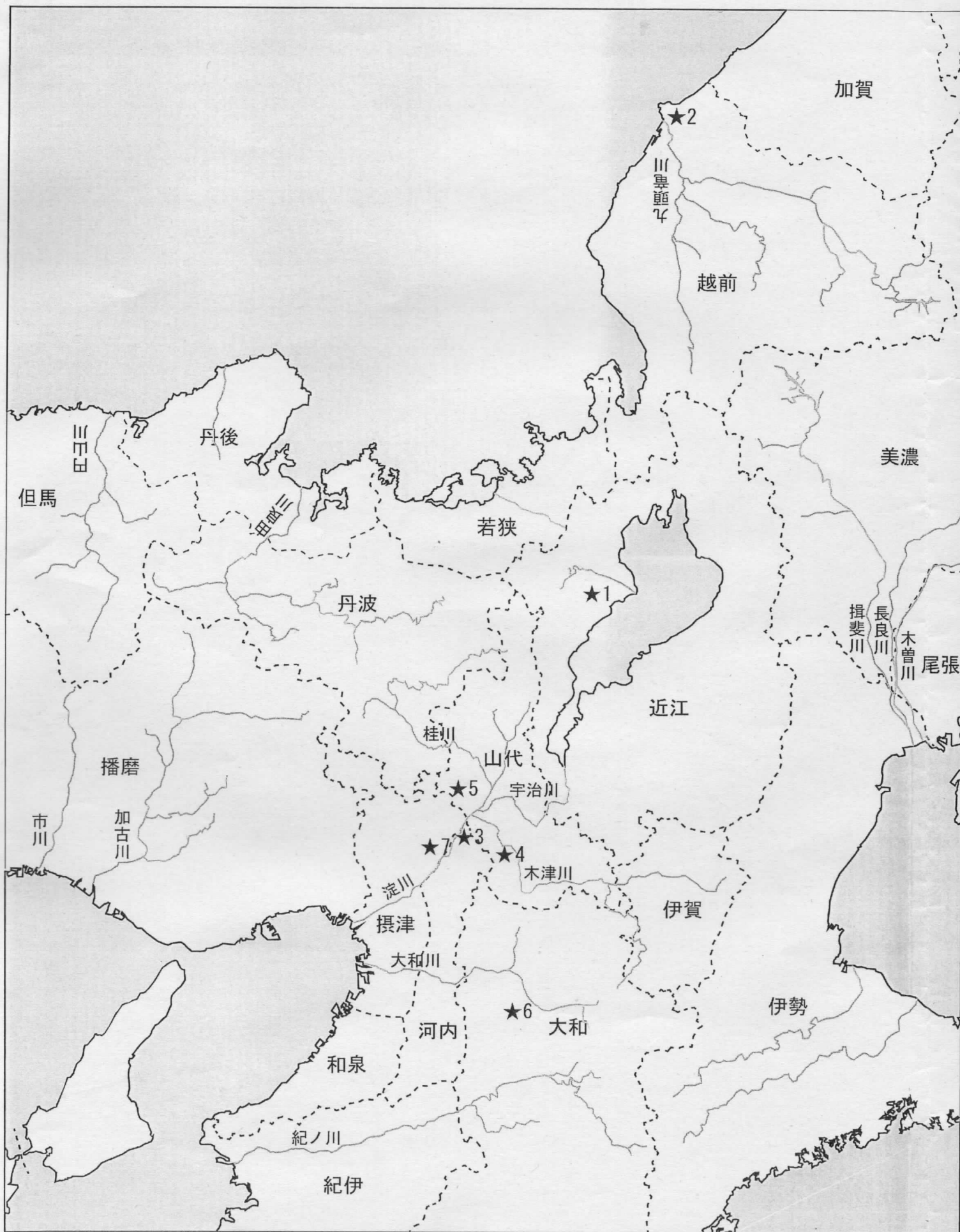
## 2 弟国宮はどこに？

### 地名「弟国」の由来

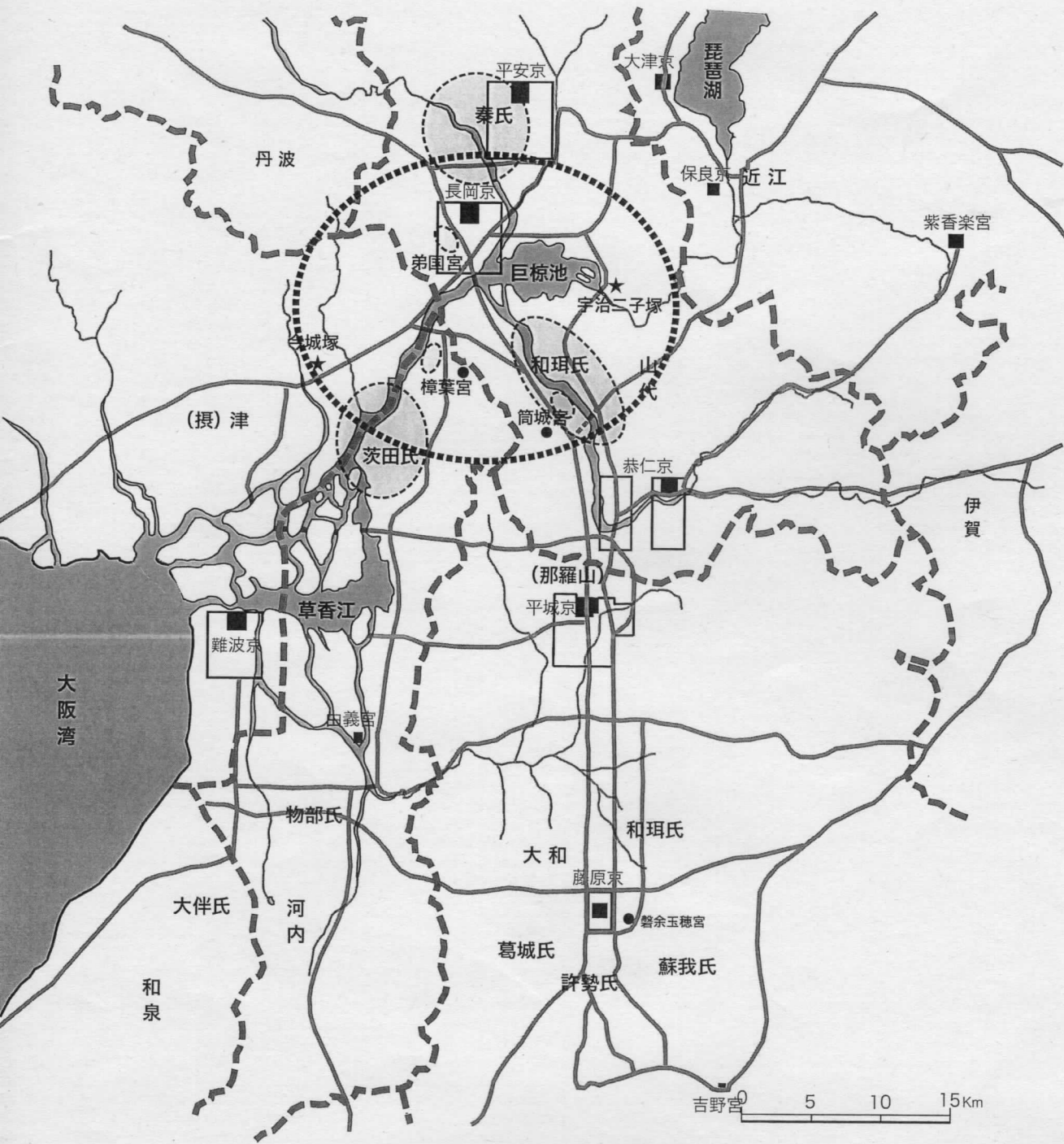
- ・『日本書紀』垂仁天皇十五年。四道將軍、且波道主命の 5 人の娘を喚す。日葉酢媛を皇后とし、次の三人を妃とする。ただ末の竹野媛だけは姿形が醜かったので且波に返す。媛はこれを恥じて葛野 (かどの) で自ら輿より墮ちて死んだ。そこでこの地を「墮国 (おちくに)」と名付けた。→「弟国」→「乙訓」

### 「弟国」の範囲は？

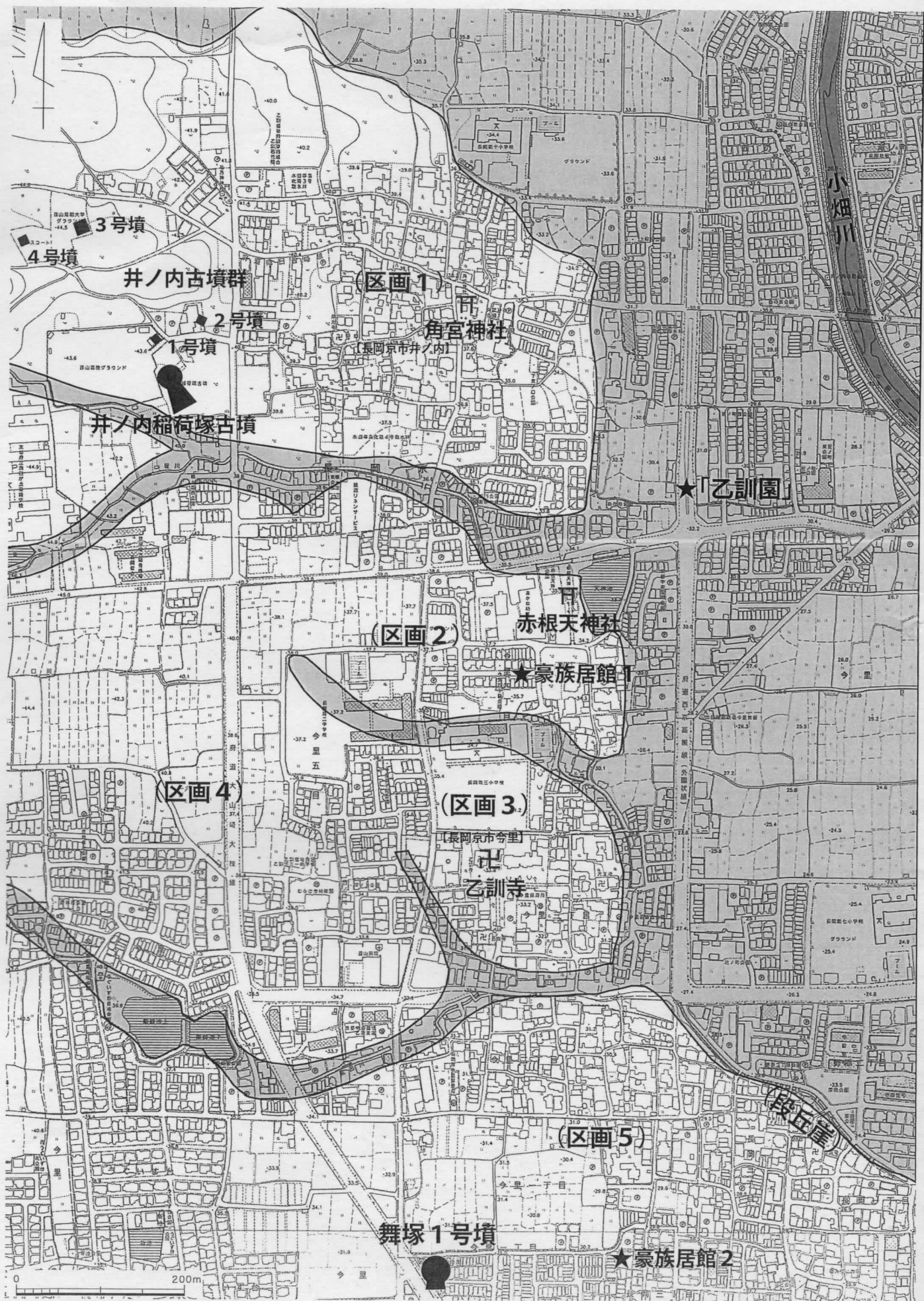
- ・乙訓郡の成立は 701 年 (国郡制の成立) →継体天皇の時代には乙訓郡はない。
- ・宮の名称は「郡」のような広域を指す名称は用いられていない。(狭い範囲の地名)
- ・山城国の乙訓郡以外の郡すべてに郡名と同じ郷が存在する。
- ・なぜ乙訓郡だけに乙訓郷がないのか？ →長岡京造宮が関係か？
- ・奈良時代の天皇家の菜園「○○園」は、郡名ではなく郷名がつけられている。
- ・「乙訓園」の場所が発掘調査で判明したことにより、もともとの「弟国」の範囲が推定されるようになった。弟国宮はその中にあるはず。



- ★1 : 近江国高嶋郡三尾郷    ★2 : 越前国坂井郡三国郷    ★3 : 樟葉宮？  
 ★4 : 筒城宮？    ★5 : 弟国宮？    ★6 : 磐余玉穂宮？    ★7 : 今城塚古墳



繼体天皇の宮と交通



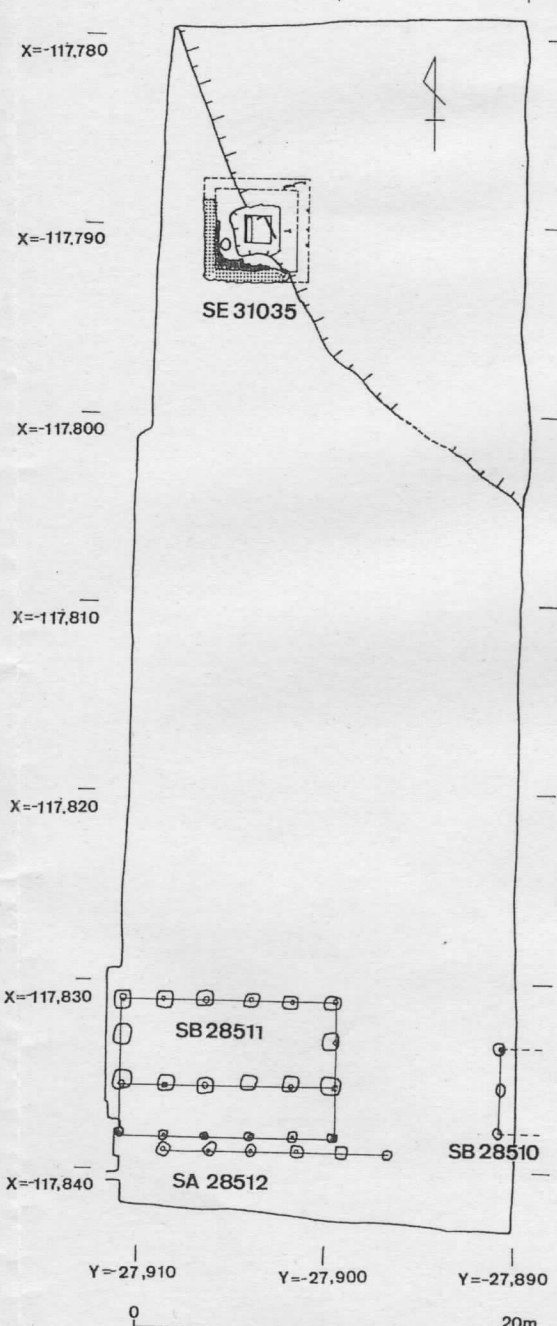
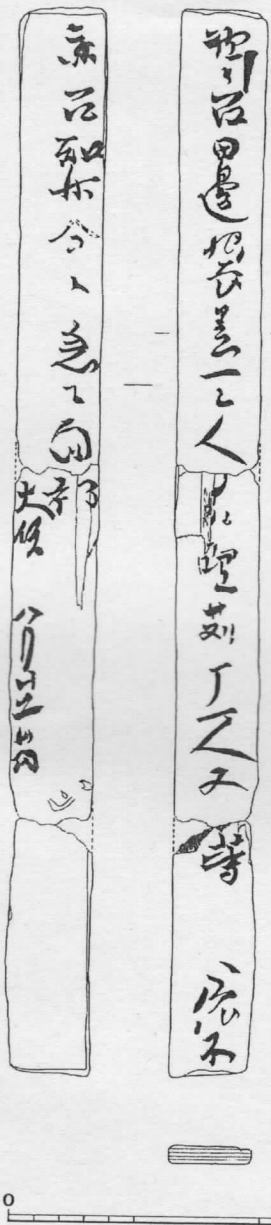


表8 『延喜式』内膳司式にみえる園

式条 地域	(座数) 園神祭	(町・段・歩) 園地	(作物) 田	(作物) 供奉雑菜	(運搬) 耕種園圃	(作物) 供御月科
平安京	(政所) 1					
山城国 乙訓郡	長岡園 3 羽東園 3	(4・9・0) 羽東園	(芹・水菜) 乙訓郡			(箸竹) 乙訓園
葛野郡	京北園 2	(18・3・0) 京北園			(左右馬寮の兼) 北園	
宇治郡	山科園 1	(0・9・0) 山科園		(瓜) 山科園		
久世郡	奈良園 3 奈突園 1	(6・8・320) 奈良園 (5・5・240) 奈突園				
相楽郡		(1・0・0) 泉園				(箸竹) 鹿鷲園
平城京		(2・0・0) 平城園				

(『長岡京市史 本文編一』より)



(表) 「御司召田辺郷長里正一人野刈丁一人又蒔丁一人依不」  
 (裏) 「召知状今々急々向 勿怠忘」  
 大領 八月廿二日

